

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	愛知工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アイチコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部全学科
	担当教職員名・役職	インターンシップ運営委員会/キャリアセンターインターンシップグループ http://www.ait.ac.jp/career/internship/for-companies/internship-teacher/
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	558	
受入企業等数	337	
受入企業等名	アイシン・エイ・ダブリュ(株)、アイホン(株)、豊田鉄工(株)、住友電装(株)、(株)ダイフク、ソフトバンク(株)、(株)名古屋テレビ映像、大成建設(株)、鹿島建設(株)、清水建設(株)、戸田建設(株)、西松建設(株)、(株)熊谷組、前田建設工業(株)、高松建設(株)、矢作建設工業(株)、(株)フジタ、五洋建設(株)、(株)安藤・間、(株)トーエネック、日本車輛製造(株)、三井ホーム(株)東洋建設(株)、トヨタT&S建設(株)、(株)シーアールイー、(株)コーワメックス、SMBC日興証券(株)、野村証券(株)、豊田信用金庫、岐阜信用金庫、愛西市役所、愛知県庁、伊賀市役所、伊豆の国市役所、一宮市役所、大垣市役所、大府市役所、岡崎市役所、各務原市役所、春日井市役所、蒲郡市役所、刈谷市役所、岐阜市役所、熊野市役所、小牧市役所、自衛隊、島田市役所、鈴鹿市役所、関市役所、瀬戸市役所、高浜市役所、高山市役所、多治見市役所、中部近畿産業保安監督部、知立市役所、東海市役所、豊川市役所、豊橋市役所、長久手市役所、名古屋市役所、沼津市役所、浜松市役所、松阪市役所、三重県庁、みよし市役所、瑞穂市役所、独立行政法人水資源機構等。	
インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 3.海外インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.実務実践型として、ある部署に配属され、一定の業務を担当する。業務・就業への理解促進に効果がある。2.調査研究型として、学生の専攻に関連した部署・業務において、課題に基づいた内容で専門的にじっくり取り組む内容である。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	6.全学部共通の選択科目として実施している。工学部は卒業の要件には入るが、進級の要件には入らない。経営学部と情報科学部は卒業・進級それぞれの要件に入る。8.原則として、夏季・春季の休業期間中に実施している。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1.ビジネスマナー講座を実施している。社会人としての心得と振舞いについて学ぶと共に、実習に臨むに当たり意識する事ややるべき事、注意や確認事項についての内容を盛り込んでいる。2.応募するに当たり、実習先企業情報を調べ、手引き資料の中のシートに記入させている。4.全学部専攻においてガイダンスを実施してインターンシップの意義やメリット等の説明をしている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	1.日報や実施報告書の提出を義務付けており、提出時には実習の振り返りと経験したことの意味付けができるように面談しております。3.事後報告会を開催することで成果の確認を図り、その成果を総合的な判断のもと各専攻毎の担当教員が単位認定をしている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	1.職員が実習企業を訪問して企業担当者と学生の取り組み方やプログラム等の進捗状況、達成目標の確認を行い、実習中の学生ともできる限り面会している。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.実習後には実習日報や実施報告書(アンケート形式)、企業様から提出いただく評価表をを基にした面談を行い、学生と職員で成果の共有と経験の意味付けを行っています。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	連続した5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.実習時期は、原則として夏季・春季の休業期間中での実習としている。その他期間での実習は今のところ認めていない。なお、単位認定条件として、連続して2週間実働10日間、若しくは1週間5日間を2回以上実施することとしている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2.学生が実習先企業を事前訪問して、インターンシップ参加の動機や目標や目的の明確化を図っている。また、事後報告会では希望企業から聴講もできる限り受け入れている。4.実習終了後、実習企業から評価表の提出を求めています。評価表は学生に開示しており、様式は本学所定のもの。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	シラバス検索情報 https://nishu.aitech.ac.jp/syllabus/syllabus/search/Kougij.dojsessioid=C1A35E8D9EC3265F0D3AD0FDB9968A00.rs4?nendo=2018 (一例) https://nishu.aitech.ac.jp/syllabus/syllabus/search/SyllabusInfo.do?nendo=2018&kogikkey=S7111301211E0206X
問い合わせ先	大学等名	愛知工業大学
	担当部署名	キャリアセンター インターンシップグループ
	担当者役職名	グループリーダー(課長)
	担当者氏名	奥田好弘
	電話番号	0565-48-4680
メールアドレス	inship@aitech.ac.jp	